なまえつけてよ

〈一日目〉

学校からの帰り道　牧場のわきを通りかかったとき

見なれない子馬…　つやつやした毛なみの茶色の子馬

春花と子馬の目が合った

子馬　ぱちりとまばたきした

春花　その美しい目にすいこまれそうになった

理由を想像して書いてみよう

春花とおばさんの関係

いつのまにか顔見知り
あいさつをするだけ
} あまり親しくはない

⇐

それなのに名前をつけさせてくれる

◎そのときの春花の気持ちが想像できる様子

歩きなれた通学路だけれど、まるで知らないような気がしてくる。

理由を想像して書いてみよう

勇太

- ひと月前に、遠くの町から引っこしてきた。
- あまりしゃべらないけど、弟の陸とは楽しそうに遊んでいる。
- 目を合わせず、足元を見ている
- ちらっと春花の方を見たけど、すぐに目をそらした。
- ぷいっと向きを変えて歩きだした。

勇太の性格を想像して書いてみよう